

令和5年度 学校経営計画及び学校評価

1 めざす学校像

| | |
|--|---|
| <p>[めざす学校像]</p> <p>1 「質実剛健」にして「文武両道」に励む生徒を育てる学校</p> <p>2 母校への誇りと地域への愛を持ち続ける生徒を育てる学校</p> <p>3 「骨太の人格」を備え21世紀を支える人材をつくる学校</p> <p>[生徒に育みたい力]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 夢と志を語る力（社会に貢献する自分を想像する力／目標を具体的に語る力） ○ 努力し続ける力（全力で学び続ける力／貪欲に挑戦し続ける力） ○ 人権を尊重し人と繋がる力（仲間をつくる力／仲間を支える力／仲間を率いる力） <p>[教職員に望む力]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ チームの一員として自らの役割を自覚し「生徒に育みたい力」を身につけさせる力（豊かな人間性・実践的な専門性・開かれた社会性） | <p>（質実剛健：夢実現のため躊躇せず挑戦しへこたれず諦めず地道に努力する気質 文武両道：勉強にも部活動にも行事にも真剣に全力で取り組むこと 骨太の人格：基本がしっかりとっていて決してぶれない心と体）</p> <p>（夢：将来実現させたいと思い描いている願い 志：心に思い定めたある方向をめざす気持ち）</p> |
|--|---|

2 中期的目標

| |
|---|
| <p>1 「夢と志を語る力」の育成</p> <p>(1) <u>確かな学力の定着と系統的な進路指導</u>（なりたい自分から逆算する指導／大学入試改革への対応） ⇒ 進路指導満足度をR7年度に90% (R2:78.9% R3:84.7% R4:86.9%)</p> <p>(2) 同窓会の人的資源活用のさらなる推進</p> <p>(3) 大教大教職コンソーシアム事業への参加促進／有識者による講演の充実</p> <p>(4) アドバンス教育コースの充実</p> <p>(5) <u>進路実現満足度の向上</u> ⇒ 満足度80%以上をR7年度まで維持／その結果、国公立大現役進学者数をR7年度に70人(25%) (R2:73人 R3:55人 R4:64人)</p> <p>2 「努力し続ける力」の育成</p> <p>(1) 高い部活動入部率の維持 ⇒ R7年度まで90%以上の維持 (R2:95.0% R3:94.4% R4:94.5%)</p> <p>(2) 課外学習時間の増加 ⇒ R7年度には2時間10分/人・日 (R2:1時間55分 R3:1時間54分 R4:1時間43分)</p> <p>3 「人権を尊重し人と繋がる力」の育成</p> <p>(1) 学校教育自己診断「生徒会行事への積極的取組姿勢」肯定率 ⇒ R7年度まで90%以上の維持 (R2:94.8% R3:96.1% R4:96.4%)</p> <p>(2) 高い部活動入部率の維持 ⇒ R7年度まで90%以上の維持 (R2:95.0% R3:94.4% R4:94.5%)</p> <p>(3) 地域、学校園等関係機関と連携した活動の充実</p> <p>(4) 人権教育・教育相談活動の充実といじめ防止</p> <p>4 「チーム八尾高」を支える教員力の向上</p> <p>(1) 学校経営計画中期的目標を踏まえた目標設定（全教職員）と高い同僚性を基盤とした業務の推進</p> <p>(2) 経験年数の少ない教員を育てるOJTの充実と教職員間のコミュニケーションのさらなる活性化</p> <p>(3) 授業力向上のための取組みの充実で授業アンケート結果平均の向上 ⇒ R7年度には3.5 (R2:3.37 R3:3.42 R4:3.40)</p> <p>(4) 「<u>学校における働き方改革の取組み</u>」による超過勤務時間縮減と生徒に向き合う時間の拡充</p> <p>(5) 大学入学者選抜改革に即応できる教員力の向上</p> |
|---|

【学校教育自己診断の結果と分析・学校運営協議会からの意見】

| 学校教育自己診断の結果と分析〔令和5年12月実施分〕 | 学校運営協議会からの意見 |
|--|--|
| <p>(生徒対象)</p> <p>○肯定率80%以上は、全38項目中28項目で昨年度より1項目増で、うち90%以上は14項目で昨年度より5項目増という結果であった。全般的には昨年度同様高校生活に満足している結果が出ている。</p> <p>○全38項目中50%以下の項目は1項目で、「八尾高校HPや各種のブログ等をよく見る」について、昨年同様35%（昨年度29%）で肯定率が低い。学習支援クラウドサービスで機能を代替している影響が依然でていると思われる。</p> <p>○昨年度より項目に入った「生徒1人1台を効果的活用している」は昨年度より16%増の77%である。さらに、これを向上させる取組みを進めていくことが必要である。</p> <p>(保護者対象)</p> <p>○肯定率80%以上は、全36項目中25項目で昨年度より2項目減で、うち90%以上は8項目で昨年度と同様の結果であった。全般的には、昨年度と同様、本校の教育方針及び本校の様々な取組みが保護者から指示されていることが伺える。今後もさらにそれぞれの取組みを充実させていくことが必要である。</p> <p>○全36項目中50%以下の項目は、「HP等をよくみている」が、50%であった。今後、HP等どのように発信していくかが課題である。</p> | <p>第1回（令和5年5月15日（月））</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在、授業見学週間（教員向け）を行っているが、他教科の先生からもらえる意見は新鮮でいいものである。 ・部活動を指導できる教員が多く配置されていることは、生徒は安心して部活動を行えるので良いことだ。またそれは中学校の後輩たちへも伝わっているのではないかな。 ・八尾高校の進学実績を10年という長いスパンで見ると、かなり向上している。それに伴い生徒の層の変化し、めざす学部なども変わっているのではないかな。それに合わせたカリキュラムなども必要ではないかな。 ・昨年度の学校運営協議会で課題となった保護者とのつながりは継続して考える必要がある。 ・授業見学の際に廊下を歩いたが、清掃が行き届いていない箇所があった。学校がきれいということも教育の環境では大事なことになるので、その点に関して指導が必要ではないかな。 <p>第2回（令和5年10月23日（月））</p> <p>◇ 授業 アンケート について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業で使う教材（スライドなど）を事前に配信したり、授業後に配信したりすることで、生徒の予習や復習に役立つのではないかな。 ・授業の教材などを配信するのであれば、一定のルールをつくって、一部の教員ではなく、全教員で行うことが生徒のためになるのではないかな。 ・小学校の授業形態が変わっているということは、いずれ中学校の授業形態も変わり、当然高校もデジタル化なども含め、変えていく必要がある。 |

| | |
|--|--|
| <p>(教職員対象) ○肯定率 80%以上は、全 46 項目中 20 項目で昨年度より6項目減で、うち 90%以上は、11 項目で昨年度より2項目減の結果であった。 50%以下の項目は、4項目(昨年度5項目)である。その項目は、「各組織間の連携が円滑であり、有機的に機能している」(40%)、「教職員が日常的に課題を共有し、解決に向けて協力する体制が整っている」(46%)、「経験年数の少ない教職員を学校全体で育成する体制がとれている」(46%)、「生徒の生活の場として、ゆとりと潤いのある教育環境が整備されている」(44%)である。これらの課題に対して、来年度しっかりと取り組んでいく必要がある。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・デジタル化が進んだ授業などを、校長が配信するなどの工夫もありではないか。 ・教員同士の授業見学などでは、お互いによいところを学ぶという観点で実施するようにすればよい。 ・授業を録画やオンライン配信などで参観し、教員間で共有することで授業力の向上につながるのではないか。 <p>◇ 人事に関する意見や要望について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文武両道の実践のために教科の専門性の高い教員、部活動指導を熱心に行うことができる教員を要望する。 <p>第3回(令和6年2月5日(月))</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校教育自己診断において生徒の満足度が高いので、いい高校生活を送っていることが想像できる。 ・自宅での学習時間が少ないように思う。 ・部活動の加入率が9割を超え、のびのび活動しているようで、いいことである。バランスが難しいが「勉強、勉強」と言いすぎて、八尾高校のいいところがなくなることには疑問である。 ・子どもが楽しそうにのびのびした学校生活を送ることができた。 ・10~15年前に比べずいぶん変わった。特に進路実績はよく上がっている。 ・大阪教育大学を受験する生徒が多いようだが、学校が楽しいから先生になりたいと思う生徒が多いのではないか。また部活動をしていた生徒もそういう傾向になるように思う。 ・同窓会の活動を生徒に周知することで同窓会の活性化につながり、今後の八尾高校の発展にさまざまなかたちで寄与できると考える。もう少し生徒に同窓会の支援や協力などについて周知する機会を増やしてほしい。 |
|--|--|

3 本年度の取組内容及び自己評価

| 中期的目標 | 今年度の重点目標 | 具体的な取組計画・内容 | 評価指標 [R4年度値] | 自己評価 |
|------------------------|---|--|--|--|
| 1 「夢と志を語る力」の育成 | (1) 系統的な進路指導 | (1) 教員の進路指導力の向上 | (1) 学校教育自己診断(生徒)の「進路指導満足度」を87%に [86.9%] 国公立大現役合格者数 65人(23.6%) [64人(23.2%)] 進路指導力向上研修4回 [4回] | 90.6% (○) 83名(30.3%) (◎) 4回 (○) |
| | (2) アドバンス教育コースの充実と府立高校教職コンソーシアム事業への参加者数拡充 | (2) 仮称「将来構想検討委員会」を立ち上げ、アドバンス教育コースの充実のための具体策を検討する。府立高校教職コンソーシアム事業に参加することのメリットについて1、2年生全員に周知徹底 | (2) 仮称「将来構想検討委員会」の立ち上げと具体策 府立高校教職コンソーシアム事業参加生徒数の増加 [35人] | 一歩先の先進的な教育(先進事例をもとにした地域と連携した探究等)を受けられるコースとして再構築する 52人 (◎) |
| | (3) 進路実現満足度の向上 | (3) 講習の充実と教員の進路指導力向上 | (3) 進路実現満足度 80%以上の維持 [86.2%] | 83.3% (○) |
| 2 「努力し続ける力」の育成 | (1) 高い部活動入部率の維持 | (1) 部活動体験 Week の実施/学校説明会における部員の活用/地域 FM を通じた部活動紹介の継続 | (1) 入部率 90%以上の維持 [94.5%] | 96.8% (○) |
| | (2) 課外学習時間の増加 | (2) 「八尾高版進路マップ(3年間の進路指導計画)」に沿った進路指導で学習意欲の向上を図る | (2) 課外学習時間平均2時間以上 [1時間43分] | 1時間33分 (△) |
| 3 「人権を尊重し人と繋がる力」の育成 | (1) 主要学校行事満足度の向上 | (1) 生徒主体の主要学校行事(文化祭・体育祭等)企画・運営をより一層推進 | (1) 学校教育自己診断(生徒)の「生徒会行事積極的取組姿勢」肯定率 90%以上を維持 [96.4%] | 98.2% (○) |
| | (2) 高い部活動入部率の維持 | (2) 2(1)に同じ | (2) 2(1)に同じ | 96.8% (○) |
| | (3) 地域、学校園等関係機関と連携した活動の充実 | (3) 地域や近隣学校園との連携促進 | (3) 地域、学校園等関係機関との連携事業実施回数 30回以上 [21回] | 47回 (◎) |
| | (4) 人権教育・教育相談活動の充実といじめ防止対策の充実 | (4) 当事者を講師とした講演会等を通じた人権教育の充実/教育相談係会の機能強化(個別の支援計画の作成主体として学年と連携)/いじめ防止委員会の定例開催と迅速正確な事象対応 | (4) 学校教育自己診断(生徒)「人権教育肯定率」90%維持[86.8%]/学校教育自己診断(生徒)「いじめ対策満足度」85%以上の維持[89.2%] | 79.1% (△) 91.6% (○) |

府立八尾高等学校

| | | | | |
|-------------------------|-----------------------------|---|--|-------------------------------------|
| 4 「チーム八尾高」を支える教員力の向上 | (1) 同僚性の高い教職員集団の形成 | (1) (仮称)「将来構想検討委員会」を立ち上げ本校の課題に取り組む | (1) 学校教育自己診断(教職員)の「学校運営への教員の意見反映」肯定率 80% 維持[67.3%] 学校教育自己診断(教職員)の「校長の考え方明示」肯定率 90%維持 [90.9%] 学校教育自己診断(教職員)の「校長のリーダーシップ発揮」肯定率 90% 維持[80.1%] | 54.5% (△) 87.3% (△) 76.4% (△) |
| | (2) 授業力向上のための取組みの充実 | (2) 年2回の公開授業の実施 授業力向上研修(工夫のある授業の紹介、動画を活用したWEB 授業力向上研修含む) | (2) 公開授業(年2回)(新規) 授業力向上研修(対面での研修1回以上)(新規) 授業アンケート結果平均の向上 [3.40] | 2回 (○) 1回 (○) 3.41 (○) |
| | (3) 学校における働き方改革の取組み | (3) 「校務運営の効率化」に向けた取り組みを進める | (3) 超過勤務時間を前年度比5%縮減 [7%増加] | 13.1%増加 (△) |
| | (4) 同窓会や報道機関と連携した戦略的広報活動の展開 | (4) ホームページのさらなる魅力化と JR 八尾駅経由で通学する生徒の取り込み/卒業生や保護者の協力を得た学校広報活動の展開 | (4) 志願倍率 1.3 倍以上維持 [1.41 倍] | 1.08 (△) |